

男女平等推進  
from  
むさしの

# まなこ

学び続ける



- 人間は楽しみながら学び続ける存在です…………… P.2
- 学び続ける人たちに聞いてみました…………… P.4
- 学びに関する情報紹介…………… P.6



# 特集 学び続ける

「学ぶ」ことに興味があっても、何をどのように始めたら良いのか分からないと思いい、躊躇していませんか。「ただの趣味だから」と思っていたことも、「学び」と捉えることにより、さらに深めることができるかもしれません。あなたの「学び」の扉を開いてみませんか。

## 人間は楽しみながら学び続ける存在です

学校の学びだけにとどまらない学習を提唱し、多方面から学びに携わる本間さんに、人生と学びについて、学び続けることについてお話を伺いました。

### 学ぶとは何か、学び続けることの意味

「学ぶ」というのは「生きる」とほぼ同義語だと思います。生物学では、ラテン語で人間をホモ・サピエンス（賢い人）と言いますが、私はホモ・ディスケンス（生まれてから死ぬまで学び続ける存在）だと考えます。生まれたばかりの赤ちゃんが本能で出来ることは限られていて、学ぶことよってハイハイできるようになり、立てるようになる。学ぶということとは人間の本性にとっても深く根ざしたものではないでしょうか。「学校で教わる」ことが学ぶことだという認識が多くなるとありますが、学ぶというのはもっと圧倒的に幅広いこと。人間関係、料理、

掃除、恋愛、仕事、看取りなども人生の中の大切な学びです。さらに言うとき辛いつきにそれを乗り越えて行くことや、美しいものを美しいと感じることも学びです。24時間365日が学びであると私は思います。

学び方は無限に存在します。一般に学習には知識、技能、態度の3つの柱があるといわれます。知識を得るには学校だと考えがちですが、就学前の子どもたちは親や周りの友達、テレビやインターネットからボキャブラリーの半分以上を学んでいます。技能は、家庭やそれ以外のありとあらゆる生活空間が学びの場です。態度に関しては人との関わりから学んでいることが多いですね。この人の良いところを真似し

よう、絶対にしないでおこうなど、人の在り方を学んでいるのです。

その人にとってベストな学び方は、いろいろな方法を試してから後でわかるもので、優位感覚、個々の学習スタイルと、聴覚優位、視覚優位、身体感覚優位、言語感覚優位など。また、ひとりで学ぶのが得意な人、他人との関係性の中で学ぶのがやりやすい人など、多様性があります。まずは試してみることで。

### リカレント、生涯学習、リスクリングとは

リカレントとは、学校教育だけにとどまらず生涯を通じて学び続けるということ。本来の意味での生涯



本間正人さん

東京大学文学部社会学科卒業後、松下政経塾にて経営哲学を学ぶ。ミネソタ大学大学院修士。NHK教育テレビでビジネス英語の講師を歴任。現在、京都芸術大学および社会構想大学院大学客員教授、松下政経塾主幹、NPO法人学習学協会代表理事などを務める。2022年から世代を超えた学び合いの場である調和塾を主宰

学習、ライフロング・ラーニングと同じだと考えます。

一般的には自治体やカルチャーセンターなどの社会人向け講座や、社会人入学で大学の学位を求めない短期の講座を受講することを指すことが多いですね。しかし私は、人間は

学ぶ存在と前提にしている。家で読書をすることも生涯学習のひとつだと考えています。

リスクリングは前述した知識、技能、態度の3つで言うところと技能、現在はとりわけITスキルに特化しています。営業がお客様の懐に飛び込む会話のスキルや、役者がウイंकする表情などのヒューマンスキルが含まれていないのが問題です。

「学び直し」という言い方もあるけど、直すというのは何かそこに悪い所があるというネガティブな意味合いがあるので、あまり使わないようにしています。学び続けることで過去の経験や学びは生かせるはず。日々の暮らしや仕事の中で、また人間関係の中で学び取ってきたことは、学歴にはならないけれど貴重な学習歴なんです。30年前に学んだことが今ここで繋がって点が線になったというように、過去と比較するのではなくて過去の自分を超えて行く。「最新学習歴」の更新が重要です。

### どんな時も、学び続ける効果はある

子育てでキャリアにブランクが生じると思う人は多いのですが、子育て期間中にも多くの学習が発生しています。子どもは親の思い通りになりませんが、

会社でも思った通りにならない人間関係で社会は構成されているわけ。子育てをした人は、付き合いにくい人とも上手く関係を築く能力が確実に上がるし、短い時間でマルチタスクをこなす能力も身に付き、さまざまなことを要領よく進められる。また、家事育児で獲得できる技能や態度はAに代替えられることが少ないと言われています。男性も家事育児能力を高めておくのは、仕事はもちろん、衛生や健康管理にも役に立ちます。何より子どもと過ごす日々は人生の中の貴重な時間です。育児休業は立派な学びの期間であり、仕事を離れていても休業ではないのです。

経営学者のピーター・ドラッカーは、パラレルキャリアを持つと唱えました。本業があつたうえで、ボランティア活動、社会人としての学びを行い、リタイア後の人生を充実させようということ。しかし、パラレルは平行という意味で交わりませんので、私はクロスオーバー・キャリアを提唱しています。副業が本業に生かされたり、コミュニティ活動が仕事の人脈に繋がったり子育てに役立つたりと相乗効果があるからです。今は人生100年代。人生を24時間に例えると、25歳が6時、50歳は正午、75歳はまだ18時。20代で学校の卒業と共に学びも終了し

人生100年を1日24時間に換算すると

年齢	時間
15歳	3:36
20歳	4:48
25歳	6:00
30歳	7:12
35歳	8:24
40歳	9:36
45歳	10:48
50歳	12:00
55歳	13:12
60歳	14:24
65歳	15:36
70歳	16:48
75歳	18:00
80歳	19:12
85歳	20:24
90歳	21:36

たら、6時頃に朝食を食べてから一切食事をとらないのと同じです。そんなのおかしいですよ。

### 学びで日本のジェンダーギャップ指数を改善できるか

学びによって改善できると思います。が、残念なことにジェンダーギャップについて大人の学びの機会が少ないうえに、参加する方の大半は女性です。男性が関心のあるプログラムを自治体などが設けて、その中にジェンダーギャップが小さくなる学びを入れていくのは有効だと思います。企業の取り組みも大事で、国が政策的に誘導して研修に補助金を出すなどは可能ではないでしょうか。「これは男性の仕事、女性の仕事、営業マン、事務の子」などという言い方の修正も含めてきちんと学習する。これぞ学び直しです。

### 学びの第一歩「リカレント」

学びというのは幅広く捉えてほしいと思います。黒板と先生と教科書、そのパターンだけではないですよ、と言いたいです。趣味、音楽、釣り、ラーメン屋巡りも学び。Aやロボットはこのスープの味はどうだなんて言えない。人間にしかできないことです。粘土細工やレゴなど、子どもの頃楽しかったことに再チャレンジすると、想像以上にはまったりもします。ひとりでやってもいいし、お友達を巻き込んで、良い意味でのライバル意識もいいですね。全ての人が共通する「ベストの学び」は無いので、自分に合ったやり方でとにかく楽しむこと。自分の好きな世界で自己ベストを更新する。それが学びの第一歩です。

\*ジェンダーギャップ指数「世界経済フォーラム(WEF)が、経済教育、保健、政治の分野のデータをウエイト付けて算出している男女平等に関する国際的な指数。日本の順位は15位(95点)(2023.6.21発表)



# 学び続ける人たちに聞いてみました

人生100年時代。年齢やライフステージにとらわれることなく、学びに挑戦している方を紹介します

「取材・文 秋山茉莉奈 久富明美」

## 専業主婦から司書資格取得、再就職へ

川口明子さん

市内在住。通信制大学で司書資格取得、現在は学校図書館司書。4児の母



夫の海外転勤を機に専業主婦になりました。海外生活を終え帰国後、通信制大学で司書資格取得の勉強を始めました。現在は、小学校や中学校で司書として働いています。実は昔から本が好きだったわけでも、関連する仕事をしていただけでもありません。第1子が産まれ、絵本の読み聞かせをするようになり、自分が幼いころに母に読んでもらった温かく幸せな記憶が蘇って、絵本の良さを再認識しました。その後、駐在先の日本人会で図書館ボランティアに携わり、\*ストーリーテリングという手法に魅了されて、本への関心が高まりました。

ありましたが、時間をかけて挑戦し、乗り越えたことが自分の強みになったと思います。

学校図書館での司書の仕事はともやがりがあります。この仕事に携わり、そのあり方、可能性を考えるようになりました。「図書館は成長する有機体である」私が感銘を受けた図書館学者ランガタンの言葉です。図書館というものは蔵書もサービスマも常に成長しなければならぬと唱えています。私も高い志を持って、魅力ある学校図書館づくりを目指し、学び続けたいと思っています。

勉強は夜にすることが多かったです。レポートもテストも多いので、週末は、夫が下の子どもたちを連れ出してくれたり、子どもたちも小中高生としてそれぞれ意見をくれたりと協力してくれました。課題が進まないときは、家事をしたり出かけたりと、別のことに頭を切り替える時間も必要でした。大変なことも

の時間を作っておくことよと思っています。自分のやりたい気持ちを育てる期間です。まだ具体的に決まっていなくても、気になることがあればちよつとやってみるのもいいかもしれません。無駄になることはないはず。私は美術大学を卒業したのですが、今の仕事に生かせていると感じます。まずは踏み出してみる。家族もきつこ応援してくれると思います。

\*ストーリーテリング 絵本や道具を用いず声だけで物語を聞かせること

## 人と繋がり、選択肢を増やす

二川佳祐さん

公立小学校教員。2児の父、Beyond Laboの運営を始め、さまざまな活動をしている



私は小学校の教員として働くかたわら、Beyond Labo という武蔵野市内で大人向けに学びの機会を提供する団体の運営をしています。学びと言っても単なる座学だけではなく、読書会をしたり映画を観たりビールを飲んだり…さまざまなことを行っています。私にとつて学びとは、人との繋がりがりや自分の選択肢を広げることだと思っています。

このような仕方での学びを重視し始めたきっかけとして、自身の挫折があります。教員を始めて5年目、担任したクラスが学級崩壊になってしまったんです。各方面に迷惑をかけてしまった反省以上に、クラスの子どもたちをこれ以上不幸にさせたくないという強い思いがありました。それでも、自分だけでは突破口が見出せないし、当時は1歳になった長女もいて、仕事も生活もいっぱいいっぱい。

そんな大変だった1年をSNSに投稿したところ、脳神経科学を研究している高校の同級生からメッセージをもらいました。それから二週間に一回ほど、彼は近所のカフェで脳神経科学についての勉強会を開催してくれました。彼が寄り添ってくれたことで、学ぶって楽しいんだと大人になって初めて思えました。一人では失敗した状況を打開できなかったけど、誰かと繋がって自分の中の選択肢を増やすことで前に進めたんです。学校の勉強もありますが、これこそが学びだと気付かされました。そして、自身の経験を地元で生かしたいと思って始めたのが、

Beyond Labo なんです。

自身の仕事に対する意識も大きく変わりました。教育現場の変化は著しいです。コロナもあったし、時代もどんどん変わる。現場で工夫しないとやっていけない。各授業に工夫を加えると業務量は増えてしまうのですが、自分が良いと思ったことを選択して実践するのって、実はとても楽しいんです。それが人生にとって良い状態だということを、子どもたちにも示していきたいらよいかと思います。

社会人になってからの学びは、時間のやりくりが本当に難しいです。私も家族の協力には本当に感謝しています。私ができるアドバイスとしては、学びの時間の確保と習慣化です。仕事や家庭があるなかだと思いますが、少しでも学びの時間を一日のなかで確保してみてください。それを習慣化するにあたって自分ひとりでは心が折れてしまうなら、友人などを巻き込んでみるのもコツです。とにかく無理のない範囲で行動してみてください。選択肢が広がることは、楽しさにも救いにもなります。

## 武蔵野地域自由大学生に聞きました

岡野裕さん

自由大学を受講したきっかけを教えてください  
リタイア後、自由な時間ができ、会社員時代にできなかった大学の聴講や講演会に参加したいと思ったのがきっかけです。自由大学は幅広いテーマで講座数も多く、これまで50講座以上受講しています。身近にあるので参加しやすいです。



学びを続けて良かったことはありますか  
今まで知らなかったこと、新しい分野について、知ることができたことです。若いころに学んだことを新たな観点から見ることができるようにも、とても興味深いです。

また、以前参加した武蔵野市主催の「いきいきセミナー」では、学習のみならず仲間づくりもできました。今も定期的に交流しています。

「学ぶこと」とは何ですか  
知的好奇心を満たすことです。現役時代は、キャリアアップの

ために仕事に関連した勉強はしましたが、自分の興味のあることに関して学ぶ時間はあまり取れませんでした。若いころから、何が好きか、やりたいか、もつと考えるとおく良かったかなと思つところはあります。でも今、多くの学ぶ機会があるので、以前から関心があったことを学び、再発見することを日々楽しんでいきます。

## 武蔵野地域自由大学生に聞きました

加茂川圭子さん

自由大学を受講したきっかけを教えてください  
20年前に武蔵野市に転入してきたときに、市役所から現在の自由大学も含めたさまざまな講座を紹介してもらいました。以前住んでいた世田谷区でも、市民大学で学んでいたんです。住む場所が変わっても、知識の豊かさを求めて何かしたいと考えました。

「学ぶこと」の面白さに気付いたのはいつですか  
きっかけは海外旅行です。会社員時代に男性社員中心の海外研修があったのですが、幸運なこと一度だけ私もこ



自由大学を受講してよかったことはなんですか  
家に籠っているもモヤモヤしてしまうのですが、外出するにもぎっかけが必要で。自由大学は市内のさまざまな大学でやっているし、費用がかからない講座も多い。気軽に出かけられるのが、とても魅力的だと思っています。

今後の目標を教えてください  
特に目標は立てないようになっています。80代になってからは、学ぶこと自体にハードルを感じるようになりませんでした。早口の講師だと聞き取れなかったり、ノートをとるにも文字がぼやけてしまったり。だから私は、自然に任せています。自分の興味が起くままに、体力が許す範囲で、これからも学び続けたいと思います。



# ヒューマンあい だより

**●男女平等推進団体の登録・更新について**  
男女平等社会の実現に向けて活動している市内団体を「男女平等推進団体」として登録しています。団体登録をすると、会議室の優先利用や補助金などの活動支援を受けることができます。詳細はホームページをご覧ください。

**TOPICS**  
ホームページなどで情報発信しています  
男女平等推進センター「ヒューマンあい」の取り組みを、ホームページなどで情報発信しています。アクセスしてみてください。



ホームページ 「まなこ」バックナンバー

## 講座レポート

### ●「子ども家事塾 生きる力を育む家事」

日時>令和5年8月22日(火)14:00~15:30  
場所>武蔵野プレイス4階 フォーラム  
講師>桑井龍三さん(桑井塾塾長、慶応義塾大学4年在学中)  
「家事は人を育てる」ことを実感し、「桑井塾」を起業した現役大学生から、洗濯をテーマに「家事」や「お手伝い」が大切な理由、それらで培われる「大人になって役立つ力」についてお話いただきました。講座後半には、洗濯たみを実践しました。



**117号「アンコンシヤス・バイアスって？」を読んで**  
令和5年度第1回「まなこ」サポーター会議が7月12日(水)に武蔵野スイングホールにて開催され、活発な意見交換がされました。  
●アンコンシヤス・バイアスについてあまり馴染みがなかったが、もっと知りたいと思わせてくれた。問題意識を持つことができた。  
●バイアスは誰もが持っているもので、どうしてもゼロにはできないと確認できた。  
●アンコンシヤス・バイアスは世代や地域によっても変わるのではないかと思う。一般化が難しい面をもっと掘り下ろして相対化することが大事だと気付かされた。  
●まなこ編集委員と周辺の人たちの声を集めた「こんな経験ありませんか？」のページが、身近な例でわかりやすい。自分ごととして捉えられてよかった。ただ、女性の意見が多かった。男性の意見ももう少し載せて欲しかった。  
[文 若林優香]

## 相談窓口のご案内 相談無料 秘密厳守

**◆女性総合相談**  
女性が暮らしの中で抱える様々な悩みについて、女性の専門相談員がお話を伺い、解決に向けて一緒に考えます。夫やパートナーのこと、家族のこと、職場や学校のことなど、どんな些細なことでもかまいません。誰かに話すことで、気持ちが楽になることもあります。お気軽にご相談ください。

**【相談方法】** 面接・電話による相談  
**【相談時間】** 1回 50分/予約制

第1土曜日	①13:00~	②14:00~	③15:00~
第2金曜日	①18:00~	②19:00~	
第3月曜日	①14:00~	②15:00~	
第4火曜日	①9:00~	②10:00~	③11:00~

**◆女性法律相談**  
離婚・扶養(養育)・相続などの法的な対応や手続きについて、女性弁護士が相談に応じます。

**【相談方法】** 面接による相談  
**【相談時間】** 1回 30分/予約制  
**【申込み方法】** 「ヒューマンあい」窓口または、電話にて予約を受け付けます。  
**【予約電話番号】** 0422-37-3410 (木曜・年末年始を除く午前9時~午後10時)

**◆むさしのにじいろ相談(性自認・性的指向に関する相談)**  
セクシュアリティ全般や性自認・性的指向に関する悩み・相談に専門相談員が応じます。ご本人のみならず、ご家族や支援者の方などからの相談にも応じます。一人で悩まず、まずご相談ください。

第2水曜日 17:30~20:30  
▶電話相談: 0422-38-5187 ※予約不要  
▶面談をご希望の方はこちらへご予約ください。 0422-37-3410

## BOOKS 男女平等推進センターの蔵書から 貸し出しています!

**『女の子がいる場所は』**  
やまじえびね著 (KADOKAWA)  
サウジアラビア、モロッコ、インド、アフガニスタン、そして日本、それぞれの国の10歳の女の子を主人公にした短編集コミック。  
彼女たちが向き合わざるを得ない「女の子だから」という価値観が描かれる。女性であるだけで学ぶ権利を奪われたり、結婚しないと生きていけないったり、不条理な現実と直面する少女たち。宗教や風習の違う異国だけの話ではない。日本にもジェンダーバイアスが根強く残ることに胸が痛くなる。重いテーマではあるが、悲しいだけでなく、女性たちのたくましさや未来への希望が感じられ、気負わずに読める。かつて少女だった大人にも男性にも読んでもらいたい一冊。  
[文 若林優香]



## 学びに関する情報紹介

### 武蔵野地域自由大学 学ぶ楽しさ無限大!

武蔵野市と武蔵野地域の五大学(亜細亜大学、成蹊大学、東京女子大学、日本獣医生命科学大学、武蔵野大学)が連携し、五大学のキャンパスや市内全域を学び場として市民に提供しています。

自由大学では、一般学生と一緒に授業を聴講する大学正規科目や各大学の特色を生かした公開講座などがあり、新たな知識や興味のある分野を幅広く学ぶことができます。



**武蔵野地域自由大学事務局**  
武蔵野市境南町2-3-18 武蔵野プレイス3F



講座の最新情報を掲載しています  
Tel 0422-30-1904  
Fax 0422-30-1960  
E-mail: jiyu-daigaku@musashino.or.jp

- 亜細亜大学 武蔵野市境 5-8
- 成蹊大学 武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1
- 東京女子大学 杉並区善福寺 2-6-1
- 日本獣医生命科学大学 武蔵野市境南町 1-7-1
- 武蔵野大学 西東京市新町 1-1-20


### 編集委員の私も自由大学生



昨年、自由大学の一つである日本獣医生命科学大学で獣医学学生がはじめて学ぶ「獣医学概論」を受講しました。犬猫や野生動物に関心があり、気軽に学べる環境が身近にあることを知ったのがきっかけです。40代になり、20代の頃とは違った気持ちで学ぶことは新鮮で有意義な時間となりました。受講後には、修了証を授与され達成感と誇らしい気分になりました。今後も今まで踏み込んだことのない分野や専門的な講座など、五大学の魅力ある講座を受講してみたいです。


### マナパス

大学等における学び直し講座や支援制度の情報を発信する社会人のためのポータルサイト。自分の希望に沿った条件で講座内容が検索できる




### 東京リカレントナビ

社会人の学び直しを目的として、様々な講座や動画コンテンツ等を掲載。新たな学びの入り口の一つとして利用できる



### 公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団

武蔵野市内で開催されている芸術文化・スポーツ・学びのイベントを検索できる



**武蔵野市立男女平等推進センター「ヒューマンあい」ご利用案内**  
〒180-0022 武蔵野市境2-3-7 市民会館1階 開館時間: 午前9時~午後10時(木曜・年末年始 休館)  
電話: 0422-37-3410 FAX: 0422-38-6239 Eメール: danjo@city.musashino.lg.jp



『まなこ』は文字通り「眼」。人やまちや文化や地球を、男女平等推進の視点＝「まなこ」で見ている！という思いで名付けられました。1991年創刊以来、市民が企画・編集にかかわっています。

## 令和5年度『まなこ』サポーターを紹介しします！

### ●大坂由香理

大学で持続可能な開発を学び、一年間北米で過ごしました。活動や仕事で今まで20力国へ行き、最近では心理学を勉強中。

### ●黒澤友美

誰もが自分らしく過ごすことができる世界になるために必要なことは何か、今回の活動を通して考えていきたいと思えます。

### ●佐々木ルリ

夏、蟻が列になつて家に入つて来る。掃除機で吸い殺虫剤を撒く。蟻は悪くない。共存共生と平等の後ろめたさに溜息と共に胸がざわつく。

### ●鈴木章

昨年に引き続きサポーターをすることになりました。『まなこ』が少しでも多くの皆さまに読まれ理解されるよう頑張ります。

### ●高橋陽実

同僚の産休・育休が重なり、男女共同が身近な課題に。男女ともに理想的な働き方を考えるきっかけにしていきたいです。

### ●中村邦子

まなこを通じて、一市民として男女平等や多様性について考え、誰もが輝ける社会を目指していきたいです。よろしくお願ひします。

### ●仁科美由紀

「男女平等」という言葉を聞くたびに違和感を覚える。身近なこの地域で違和感へのヒントを得られたならこれ幸い。

## 男女平等推進団体 活動補助金事業報告

### 女性の権利を国際基準に！ 私たちが今できること

日時：令和5年10月1日(日)  
14:00～16:00

会場：男女平等推進センター  
会議室

講師：山下泰子さん  
(国際女性の地位協会 名誉会長)

主催：むさしのジェンダー問題を考える会



『まなこ』サポーターの200「ラム」

## 『学び続ける』インタビュー

### 自由に、自分らしく生きるために

佐々木ルリ

学び続ける事は自由になる為。それはより丁寧生きる事に繋がる。自由とは、自分の頭で考え行動する事であり、その為には様々な学びが必要だ。人生は自分の選んだ物で出来ている。知識を得る事で、自己判断基準となる物の見方や考え方が形成される。それは新しい世界を広げ、生きる喜びや心の拠り所を作る。私は最近、考古学講座を受け始めた。縄文土器を初めて持った時、新しい世界に触れた感覚を覚えた。人生最後の道楽は学びだそう。

### 学びの予算とリターン

高橋陽実

学びのリターンは予算と比例するのかわかると考えたきっかけは、2022年に受講した2つのライティング講座。1つは無料、もう1つは8万円かかった。学びが多かったのは前者だ。きめ細やかなサポートで、書き方の知識はもちろん、書くことへの自信を得ることができた。大金をかけることも時には必要だ。しかし、まずは無料・少額から始め、自分の生活や心の変化を観察してみれば？そこで人生を変える学びが得られるかもしれない。

### 学びたい時が学ぶ時

仁科美由紀

子育てがひと段落したのを機に、社会人枠で大学院を受験。時流に乗り、現在大学院生を謳歌している。学生証を使って美術館に入館できることはこそばゆいが嬉しくもある。社会に出たての頃、勉強が役立つのは算数くらいだと思っていたが、子どもを育てていく中で、勉強とは自己の成長に役立つものと再認識。そこから様々な講座を受講するようになった。学びは、悩みのちっぽけさに気づかせ、時に解決してくれる強い味方である。

## Editors' Notes \* 編集後記

学ぶことは人生を豊かにするだけでなく、誰かを救うヒントやきっかけになるのだと思つた。誰にとっても学ぶことが、身近なものになってほしい。  
(秋山茉莉奈)

学ぶとは自分自身をつくり、そこから得た知識や知恵は人生を豊かにするのだと学んだ。生涯を通して楽しみながら何かを学び続け、自身を更新していきたい。  
(沼田仁子)

人生には卒業証書の無い学びが沢山あるのだと知った。何か新しい事を始めるに次々に他の事へ繋がっていく時がある。そうやって気づかぬうちに学び続けていたのかもしれない。  
(羽柴史美)

数年前に自由大学の講義を聴講した。知識を得る以上に、大学の設備やシステムの進化、学生の多角的な視点に驚きや発見があった。これも学びの一つ。成長し続ける自分でありたい。  
(久富明美)

人生を24時間に例えると意外とまだ時間があることに驚いた。学ぶことは楽しいこと。育児、家事、趣味、生活のあらゆることを貪欲に糧にして学び続けたい。  
(若林優香)

### \* STAFF \*

サポーター	大坂由香理 黒澤友美 佐々木ルリ 鈴木章 高橋陽実 中村邦子 仁科美由紀
取材・編集	秋山茉莉奈 沼田仁子 羽柴史美 久富明美 若林優香 武蔵野市立男女平等推進センター担当職員
編集協力	栗原 毅
表紙デザイン	ふじわりらわ
レイアウト	上田ジュンコ
印刷	シンソー印刷株式会社

『まなこ』は市役所、市政センター、図書館、コミュニティセンター、駅、医療機関、理美容院、大型店舗、金融機関など市内の約490か所に置いてあります。バックナンバーをご希望の方は、男女平等推進センター「ヒューマンあい」まで。

\*配布は、公益社団法人武蔵野市シルバー人材センターのご協力を頂いております

市ホームページでもバックナンバーを  
ご覧いただけます。

武蔵野市 まなこ 🔍 検索

◎綴じ込み返信はがきで、ご意見や感想をお寄せください。次号は、令和6年3月発行予定です。